

「あいちの生んだ作家展」作家リスト(2階 特別展示「あいちの児童文学」)

作成:2011.1.19 愛知県図書館
(五十音順)*印は展示資料

	名前(よみ)	生年	出身地	備考
1	阿久根 治子(あくね はるこ)	1933	名古屋市	作家、詩人/サンケイ児童出版文化賞:*『やまとたける』
2	伊藤 正之助(いとうしょうのすけ)	1859	岩倉下市場(現岩倉市)	郷土史家 *『尾張童謡集』
3	いとうひろし	1916	名古屋市	作家、ストーリーテラー、元名古屋市鶴舞中央図書館副館長 *『月刊絵本・フレンド・シリーズ』
4	井上 寿彦(いのうえ としひこ)	1936	名古屋市	作家、元東海学園大学教授/1994年愛知県図書館開催の「あいちの生んだ児童図書作家展」監修/新美南吉文学賞:*『みどりの森は猫電通り』
5	梅沢 時子(うめざわ ときこ)			研究者、東海学園大学名誉教授 *『ぼくたちは幸福だった-ミルン自伝』
6	江川 園彦(えがわくにひこ)	1940	瀬戸市	作家/講談社児童文学新人賞佳作入選:『神様がみんなを笑わせた』 *『おれはカットン』
7	大石 源三(おおしげんぞう)	1929	半田市	研究者 *『ごんぎつねのふるさと 新美南吉の生涯』
8	大西 巨口(おおにしきよこう)	1888	京都府	名古屋新聞(現 中日新聞)記者、児童文芸誌「兎の耳」出版、元名古屋童話協会会長 *『大西巨口と兎の耳』
9	小野 敬子(おのけいこ)	1935	東京都	研究者/愛知で執筆活動 *『南吉童話の散歩道』
10	川出 博章(かわでひろあき)	1934	名古屋市	研究者 *『児童文学と佐藤一英』
11	鬼頭 隆(きとうたかし)	1950	名古屋市	作家、詩人 *『桜の下で月の下で』
12	久保田 輝男(くぼたてるお)	1927	東京都	翻訳家、元同朋大学助教授 *『卒業の夏』
13	小池 長(こいけ たける)	1901	愛知郡春木村(現東郷町)	口演童話家/久留島武彦文化賞 *「童話人」
14	小寺 玉晁(こでらぎょくちょう)	1800	名古屋	江戸時代の随筆家、尾張藩大道寺家などに仕えた陪臣 *『尾張童遊集』
15	酒井 晶代(さかいまさよ)	1966	宝飯郡一宮町(現豊川市)	研究者、愛知淑徳大学教授 *『児童文学に魅せられた作家たち』
16	佐藤 一英(さとういちえい)	1899	中島郡萩原町(現一宮市)	詩人 *『佐藤一英「歌曲集」:ふる里のうた』
17	しかたしん	1928	現ソウル市	作家、劇作家、演出家、劇団うりんこ初代代表、元愛知大学短期大学部教授 *『むくげとモーゼル』
18	杉浦 明平(すぎうらみんぺい)	1913	渥美郡福江町(現田原市)	評論家、小説家、翻訳者 *『犬と五人の子どもたち』
19	武田 雪夫(たけだゆきお)	1902	宝飯郡国府町(現豊川市)	作家 *『やさしいおともだち』(紙芝居・原作)
20	中条 雅二(ちゅうじょうまさじ)	1907	富山県	詩人/幼少時に名古屋へ。詩誌「えんじゅ」を主宰。昭和12(1937)年、童謡「一茶さん」(中条雅二作詞・中野二郎作曲)が全国ヒット。
21	都島 紫香(つしましこう)	1911	愛知郡御器所村(現名古屋市昭和区)	口演童話家、作家、元名古屋市鶴舞中央図書館副館長/新美南吉文学賞:「名古屋児童文学史の研究」/久留島武彦文化賞 *『順吉と健』
22	出村 孝雄(でむらたかお)	1908	知多郡南知多町	口演童話家/久留島武彦文化賞、児童文化功労賞受賞 *『心に生きている話』
23	寺沢 正美(てらさわまさみ)	1928	丹羽郡犬山町(現犬山市)	作家 *『三河の民話』*『安城が原の水音』
24	遠山 光嗣(とおやまこうじ)	1971	半田市	研究者、新美南吉記念館学芸員 *「新美南吉記念館研究紀要」
25	戸苅 恭紀(とがりやすのり)	1948	知多郡大府町(現大府市)	研究者、愛知県立大学教授 *『名古屋の童謡運動史』

	名前(よみ)	生年	出身地	備考
26	中野 二郎(なかの じろう)	1902	東春日井郡瀬戸町(現瀬戸市)	作曲家/愛知県文化功労者表彰/昭和12(1937)年、童謡「一茶さん」(中条雅二作詞・中野二郎作曲)が全国ヒット。 *『唱歌 落ち穂拾い』*「一茶さん」童謡集(校正原稿)
27	新美 南吉(にいみ なんきち)	1913	知多郡半田町(現半田市)	作家/展示作品は原稿・葉書・色紙・画帖などの複製および作品など多数展示
28	西村 滋(にしむら しげる)	1925	名古屋市	作家/日本ノンフィクション賞:『雨にも負けて 風にも負けて』 *『笑わない青春』
29	花井 都茂子(はない ともこ)	1948	京都府	評論家、愛知で執筆活動 *『児童文学に魅せられた作家たち』
30	浜 たかや(はま たかや)	1935	東京都	作家/名古屋市在住/日本児童文学者協会新人賞:*『太陽の牙』/赤い鳥文学賞:『風、草原をはしる』など。
31	林 美千代(はやし みちよ)	1948	名古屋市	評論家 *『児童文学に魅せられた作家たち』
32	原 昌(はら しょう)	1931	名古屋市	研究者、中京大学名誉教授/新美南吉文学賞:*『児童文学の笑い』 *『ぼくたちは幸福だった-ミルン自伝』
33	平松 哲夫(ひらまつ てつお)	1947	一宮市	作家 新美南吉文学賞:*『一番星にいちばん近い丘』
34	藤川 淡水(ふじかわ たんすい)	1881	熊本県	作家/本名:藤川 義雄(ふじかわ よしお) *『愛知県お伽噺』
35	堀尾 幸平(ほりお こうへい)	1935	西尾市	作家、劇作家、元愛知淑徳大学教授/新美南吉文学賞:「ガララに盗まれた神の笛」(児童劇団脚本) *『太郎樹』*『「少年之玉」研究』
36	三宅 千代(みやけ ちよ)	1918	名古屋市	歌人、作家 *短歌誌「白い鳥」(編集発行)
37	三輪 弘忠(みわ ひろただ)	1856	渥美郡豊橋関屋町(現豊橋市)	作家、教育者 *『少年之玉』
38	森 三郎(もり さぶろう)	1911	碧海郡刈谷町(現刈谷市)	作家 *『かささぎ物語』
39	森 銑三(もり せんぞう)	1896	碧海郡刈谷町(現刈谷市)	人物研究家、書誌学者、刈谷町や名古屋市の図書館にも勤務 *『瑠璃の壺』
40	矢口 栄(やぐち さかえ)	1935	群馬県	研究者、新美南吉記念館館長 *「新美南吉記念館研究紀要」
41	山崎 かよみ(やまざき かよみ)	1947	名古屋市	ブック・アドバイザー *『児童文学に魅せられた作家たち』
42	山田 正巳(やまだ まさみ)	1922	名古屋市	詩人、翻訳者 *『A. A. ミルン童謡集』
43	山田 もと(やまだ もと)	1920	渥美郡田原町(現田原市)	作家/ちぎり文学激励賞:『よだかの夜でっぼう』 *『水の歌』
44	山本 知都子(やまもと ちづこ)	1926	愛知県	作家/愛知県安城高等女学校時代に新美南吉の教えを受ける/新美南吉文学賞:*『海がめのくる浜』

●愛知と関わりの深い作家

	名前(よみ)	生年	出身	備考
45	赤座 憲久(あかざ のりひさ)	1927	岐阜県	作家/毎日出版文化賞:『目のみえぬ子ら』/産経児童出版文化賞、新美南吉児童文学賞:*『雨のにおい星のこえ』 *『ぼくは盲導犬のサポーター』
46	角田 菜瑛子(かくだ まさこ)	1941	岐阜県	作家/児童文芸新人賞、岩崎少年少女歴史小説作品入選:『ゆきと弥助一紙すきのうた』/岐阜県芸術文化奨励賞受賞 *『蘭丸、夢の途中 真相・本能寺の変』
47	北村 けんじ(きたむら けんじ)	1929	三重県	作家/新美南吉文学賞:*『ハトと飛んだぼく』/サンケイ児童出版文化賞:*『まぼろしの巨鯨シマ』/ひろすけ童話賞:*『しいの木のひみつのはなし』/日本児童文学者協会賞:『ギンヤンマ飛ぶ空』